



荒川区西日暮里2-55-1
国鉄労組東京地方本部
発行責任者 鎌田博一
編集責任者 常盤達雄

No.1773

2014年
8月5日

国労加入を
大胆に訴えよう

八王子地区本部
組織拡大へ交流集会開催

労働条件改善へ JESSS 連絡会結成

国労東京JESSS連絡会準備会は、七月一六日に、JESSS連絡会結成総会を地本会議室において開催した。主催者あいさつでは、武田準備会会長から「今後プロパー採用の皆さんをいかにして組織化していくかが重要。連絡・交流に集中して職場末端の声を集約していきたい」などのあいさつがされた。続いて東京地本鎌田委員長から「多くの委託職場から、労働条件改善・職場改善・制度改善などについて声があがっていたが、東日本本部と連携し、今年五月一日に労働協約が締結された。今日

労働者を守る組織だと国労に加入した事も報告された。また、今後急速に導入が拡大しそうな駅遠隔操作システムのの問題も多く報告された。最後に、新役員選出として、準備会役員がそのままJESSS連絡会役員に移行する事が提案、承認され、役員一人ひとりから自己紹介があり、最後に閉会のあいさつを兼ねて武田新会長から「若い人達との接点を作り、組織化を進めるのが重要。この間培ってきた運動を力にあわせていきたい」などのあいさつがされ、結成総会は終了した。



JESSS連絡会結成総会

八王子地区本部は、七月一二日に八王子労政会館において、組織拡大経験交流集会を開催した。田中委員長の主催者あいさつ、地本小澤組織部長から来賓あいさつの後、各分会から報告を受け、A駅からJESSSプロパー社員の組織化に向けて「GS雇い止めのプロパー社員がいる。同じ仕事をして、賃金・昇給・手当が違う。不満も多い。交流を呼びかけ、参加してもらっている」、B駅からGSと新入社員の現状と組織化に向けて、「若い人がおかしと言えない事を、自分が代わりに言っている。サービスマンではない等、若い社員に話をして、仲間の気持ちを大切にしている」、C保技セから若手社員の組織化に向けて、「若手社員といろいろ話すが、組合と会社の関係などわからない。休日も出てきて自分の課題を取り組み、体調を崩す人も」などの報告がされた。

その後熊田組織部長から地区本部提起があり、昼食休憩後、分散交流会が行われ、さらに議論がされた。



地区本部主催・組織拡大経験交流会

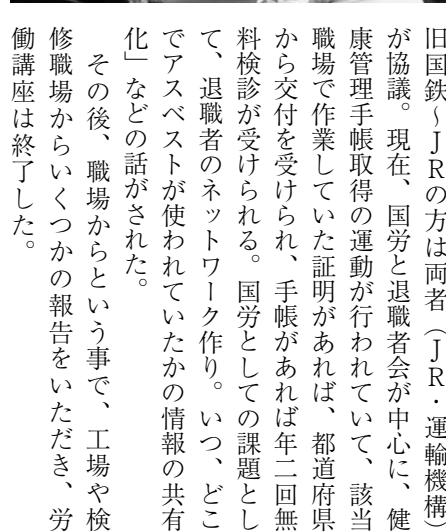
深刻なアスベスト被害 国労東京労働講座

東京地方本部は、七月一二日に北区岸町ふれあい会館において、国労東京労働講座を開催し、今年はアスベスト問題を取り上げた。

主催者あいさつでは、稲荷副委員長から「この間、新入社員からJESSSのプロパー社員、退職が近い年配者まで、さまざまな方が国労に加入。職場での活動や前向きな姿勢などを見て決意してくれた。もうひと踏ん張りして職場から成果をあげていただきたい。川崎での脱線事故や、協力会社の方が亡くなる労働災害も発生。技術継承と安全問題を会社に

求めていく」などのあいさつがされた。第一講座では、「国鉄・JRにおける石綿被害の実態と今後の取り組み」として、国労本部・小池業務部長に講演をいただいた。その中で、「二〇〇五年の定期全国大会でアスベスト対策の方針を決定し、退職者への周知、OB会との連携強化、健康被害調査、JR・鉄道運輸支援機構との交渉、厚生労働省への要請など、さまざまな取り組みを行ってきた。現時点で認定被害者が四〇〇六名。工場、機関区など検修職場が多いが、駅や船舶、自動車でも発生。退職者への制度周知が不十分なこと、JR東日本・東海以外は社内に通達文書も出していない事、役所の制度は全て、自分

が申請しないと救済されない事、今でも古い車両から、解体・改修の際に石綿が見つかるなど問題が多い」など様々な実態を話していただいた。第二講座は、「石綿健康管理手帳取得の取り組みと課題」として、神奈川労災職業病センターの池田常務理事に講演をいただいた。その中で「アスベストが原因で起きる病気は悪性中皮腫、肺がん、石綿肺など。吸ってから発症まで三〇〜四〇年。病気により認定基準が違うこと。アスベスト関係の診断ができて医師が少ないこと。働いたのが旧



神奈川労災職業病センター 池田さん

国鉄だけの方の証明は鉄道運輸機構が出し、旧国鉄・JRの方は両者(JR・運輸機構)が協議。現在、国労と退職者会を中心に、健康管理手帳取得の運動が行われていて、該当職場で作業していた証明があれば、都道府県から交付を受けられ、手帳があれば年二回無料検診が受けられる。国労としての課題として、退職者のネットワーク作り。いつ、どこでアスベストが使われていたかの情報の共有化」などの話がされた。その後、職場からという事で、工場や検修職場からいくつかの報告をいただき、労働講座は終了した。

集团的自衛権
行使容認阻止!
残業代ゼロNO!
憲法改悪を許さない

国労東京 8.23 集会
8月23日(土) 14:00 ~
全水道会館 (水道橋)

分散发交流会報告のあと、青年加入者からの近況報告と訴えとして、「本部や他支部の交流会に参加した。いろんな生の声が聞けるし、また、頑張ろうという気持ちになる」皆さんに面会してもらおうとは思っていない。若い人が入って来た時に、いろいろ話せる国鉄だけの方の証明は鉄道運輸機構が出し、旧国鉄・JRの方は両者(JR・運輸機構)が協議。現在、国労と退職者会を中心に、健康管理手帳取得の運動が行われていて、該当職場で作業していた証明があれば、都道府県から交付を受けられ、手帳があれば年二回無料検診が受けられる。国労としての課題として、退職者のネットワーク作り。いつ、どこでアスベストが使われていたかの情報の共有化」などの話がされた。その後、職場からという事で、工場や検修職場からいくつかの報告をいただき、労働講座は終了した。



最後に井上副委員長の閉会あいさつ・団結ガンバローで集会は終了した。

